



下境っ子

直方市立下境小学校
校長 塩田 朋久

創立150周年① ～校舎の校章をリニューアル～



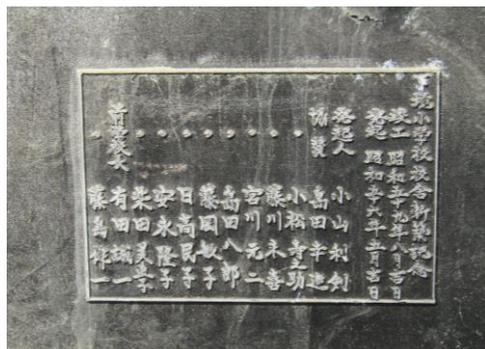
下境小学校は、今年度、創立150年を迎えました。このお便りをはじめとして、数回にわたって本校のあゆみを掲載していきたいと思います。

下境小学校の校舎、玄関上の壁面に校章がついています。それは、設置から40年近く経過しており、ずいぶん色が黒ずんでいました。せっかく150周年だから、きれいにさせていただくよう昨年度から教育委員会をお願いしていたところ、新しく制作していただけることに……。そして、14日に交換の工事があり、15日に全校を挙げて除幕式を行いました。



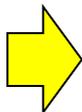
左の写真は、これまで見守ってくれた校章を外した時のもの。後ろの二宮金次郎像と比べて分かるように、とても大きく、鋳物(いもの)でできているので私が一人で持ち運ぶのはムリ……。重かったです。そして、裏面を見て、業者さんとともにびっくり！

この校章を制作するために関わった方々のお名前が彫られていました。取り外さないと絶対に見ることができなかった刻印。当時の方々の、本校



に対する温かさを感じずにはいられませんでした。

除幕式は、朝学習の時間に行いました。全校児童、先生方が見つめる中、除幕！



歓声とともに拍手でのお披露目となりました。

さて、下境小学校の校章は1931年(昭和6年)に定められました。ちょうど「直方市」が誕生した年と同じです。ご覧のようにホテルがデザインされています。これは「蛍雪の功」という言葉のとおり、「苦労してもあきらめずに、一生懸命勉学に励んで立派な大人になってほしい」という願いが込められているのです。子どもたちにもこの話をしました。地域の先達が深い愛情と想いを託した校章ですね。

何気に目にしていた校章だったと思います。改めて歴史を知ることで見方も変わりますね。体操服にもついている校章です。「下小プライド」として大切に思っています。

今回は……150年前にジャンプします。